

Tips to Start Teaching Japanese

日本語を教えたことはないけれども、exchange もかねて tutoring してみたい、と言う方への tips です。参考にしてください。

1. 経験がありません。私にできますか？

やる気さえあれば、もちろんできます。ただ、外国人が日本語を勉強するときの文法は私たちが以前学校で習ったものとはずいぶん違います。書店でなにかテキストを選んで、それに沿って教えていくといいでしょう。

2. 第1日目、何から始めたらいいでしょう？

生徒にとってまったく初めてのレッスンなら、挨拶と自己紹介を覚えてもらおうと、「ちょっと日本語を知っている」気分になってくれるはずです。

3. 生徒の目的は？

私たちが学校で外国語を習ったときは、「読み書きができる」ことを目的とした教育方法でしたが、日本語を習っている外国人の目的は「日本人と話してみたい」というのがほとんどです。趣味で勉強している生徒にはコミュニケーションベースのアプローチがいいでしょう。学校の勉強の補習の場合はちょっと変わってくるかもしれません。

4. 「行く」vs「行きます」

日本語を教えたことがない人は、一番簡単な動詞の形として最初に原型を教えがちですが、これは意外に難しいのです。動詞は、まず「～ます」フォームで教えましょう。すべての動詞が「～ます、～ません、～ました、～ませんでした」と活用できるので、すぐに現在・過去・未来(=現在形)の話ができるようになります。「です・ます」は、いつでも通用する丁寧な話し方でもあります。

5. 日本の文化について聞かれました。

文化紹介は生徒のモチベーションを高めるにも有効です。伝統文化(茶道、華道、歌舞伎等)に限らず、Jポップやアニメ、食べ物など。じゃんけんを教えたっていいのです。インターネットでも多くの情報が集められます。私たちにとっても新しい発見があります。

6. どんなテキストや参考書がありますか？

ポピュラーなものでは、*Japanese for Busy People* (Kodansha America) のシリーズや、*Yookoso!* (McGraw-Hill Higher Education) があります。助詞(てにをは)など、説明の仕方が私たちにはかえって難しいこともありますから、教師用の参考書もあると便利です。裏面の参考文献の欄もご参照ください。